



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2006年（平成18年）12月25日号 No. 1384

## 目次

■プーチン政権のエネルギー政策に異議あり .....	V.ミロフ 1
■統計速報 .....	7
2006年1～9月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／7	
2006年1～9月の日ロ貿易／8	
■トピックス .....	10
KDDIが日ロ間に光海底ケーブルを共同敷設、NECが建設受注／10	
■エトセトラ .....	10
『調査月報』2007年1月号のご案内／10	
『ロシアNIS経済速報』2006年（平成18年）掲載記事一覧／11	
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート .....	12

### インタビュー

### プーチン政権のエネルギー政策に異議あり

エネルギー政策研究所 所長

V.ミロフ

## はじめに

先日、モスクワに出張した際に、民間シンクタンク「エネルギー政策研究所」を訪ね、ミロフ所長に話をお聞きする機会があった。

ミロフ所長は、ロシア政府で要職を歴任したエネルギー問題のエキスパートであり、2002年にはエネルギー省の次官にまで上り詰めている。しかし、ちょうどその頃、ロシア政府のエネルギー政策が硬直化し始め、それを承服できなかったミロフ氏は政府と決別することになる。エネルギー省次官辞任後すぐに、独立シンクタンク「エネルギー政策研究所」を立ち上げ、その後はプーチン政権のエネルギー政策を批判する論陣を張っている。